

クラス番号	924	担当教員名	斉藤 雅茂
テーマ	高齢者の社会的孤立（孤立死・孤独死）と社会福祉調査		

## ゼミナール概要

### 目的、内容、方法等：

急激な高齢化とあわせて、一人暮らし高齢者や生涯未婚者の急増といった背景のなかで、高齢者の社会的孤立や孤立死・孤独死に関連する報道を目にする機会が少なくないと思います。本演習では、高齢者の社会的孤立という問題を扱いながら、3年次以降の専門演習等で求められる基礎として、①文章を正確に読む力を身につけること（読む力）、②資料を自分で探せるようになること（探す力）、③調べたことを人に伝えられるようになること（伝える力）、④他人の意見を聞き、議論できるようになること（聞く力）、⑤レポートの書き方を習得すること（書く力）、⑥社会福祉実践で用いられる調査方法を使えるようになること（調べる力）、の6つを目標にしています。

本演習の進め方としては、はじめに、資料の検索方法を解説したうえで、上記テーマに関連した文献を収集し、輪読とグループ・ディスカッションを重ねていく予定です。その際に、学术论文・統計資料をクリティカルに読む方法とともに、より効果的なプレゼンテーションにむけた資料の作り方や発表方法について考えていきます。後期からは、社会福祉調査論などで学んだ調査手法を実際に用いてデータ収集から簡単な分析までを演習していきます。また、書く力を身につけるために、年間で3回はレポートを提出してもらい、添削および反省会を行います。

### 授業計画：

- （前期）－はじめは、上記のテーマに関連した専門書を輪読します。毎回、学生からの報告を踏まえてグループ・ディスカッションを行います。毎回の発表では、ゼミのメンバー間で、資料の作り方やプレゼンテーションの仕方について評価しあう予定です。
- －その後、Web上の論文検索エンジンを活用した資料（専門書・学術雑誌等）の探し方を演習し、各自の関心に即した論文を集めて輪読をし、レポートにまとめていきます。
- （後期）－レポートの反省会ののち、参与観察から質問紙調査までの調査手法を再び学習し、実際に体験していきます。質問紙調査については、調査票づくりからデータ収集、データ入力、分析までを一通り行う予定です。
- －調査を通じて得られたデータに基づいて再びレポートを提出してもらいます。提出されたレポートは添削し、お互いに反省会を開く予定です。

### 担当教員からのメッセージ



演習（ゼミナール）は、講義と違い、皆さんが積極的に参加し、自ら学習を深めることが求められます。出席するのは「当たり前」ですし、皆さんに要求される課題・準備も少なくありません。このため、皆さんの負担は大きいですが、得られるものも大きいはずですよ。自身の経験を振り返ると、学生時代の演習が人生の転機になったように思います...ぜひ様々なことにチャレンジして頂き、お互いに成長できる場にしていきましょう。皆さん自身がより深めたいテーマを言語化し、自らの力で問題に取り組めるようお手伝いしたいと思います。